

学校だより

5月号

平成29年 4月28日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

青葉若葉の季節 ～「段取り」について考える～

校長 井出 了一

ハナミズキの白やピンクの花が一斉に咲き、新緑がひとときわ眩しい季節となりました。毎朝、正門の前で子どもたちの登校を迎えています。この1か月で周囲の景色がガラリと変わりました。花を終えたサクラや氷川の杜のケヤキには、透明感のある青葉若葉がいつの間にか生い茂り、初夏を思わせる風にさわさわと揺れて清々しさを感じます。



【ハナミズキ】

ところで最近、ネット通販の急速な増加で宅配業者が悲鳴を上げている、というニュースから働き方の問題がクローズアップされています。そんな折に、老舗運送会社の社長さんの話を聞く機会がありました。引越しなどでおなじみの「日本通運」です。

この日本通運は、もともと飛脚を束ねる問屋から始まった会社が発展し、明治の文明開化のとき、国は郵便を、その他は民間でという取り決めがなされて、この業態になったそうです。今では、京都に仏像などの美術品を扱う専門の支店を持つなど、特殊な運搬に特化した部署（新幹線の輸送や風力発電のプロペラの輸送など）も持っているそうです。

社長の話では、「近い将来、高速道路では専用レーンを自動運転のトラックが列をなして荷物を運ぶような時代が来るだろう。同じことをやっていたのでは将来性がない。必要な機材やシステムを自前で作るなどの改善が不可欠だ。」そして、最後におっしゃっていたのが「モノを運ぶのは大切なことだが、簡単なことではない。」「運ぶ前に、担当者との綿密な打ち合わせや、分量、形状、壊れ易さなど、徹底した調査を行っている。調査の段階で成否の8割が決まる。これを『段取り8分』といい社訓としている。」との事でした。

まさに教育の世界も、段取りの連続です。学校では新年度、新しい学年や学級に向けて、様々な段取りを行い、周到な準備を進めて子どもたちを迎えました。この後も、授業の準備や行事の予定など、計画を進めるために段取りと実践の連続です。

学校教育は意図的・計画的に行われるものです。当然子どもたちが相手ですから、時と場に応じて臨機応変な対応も必要ですが、想定できる限りの場合に備える周到さが求められます。そのためにも「段取り」を大切にしていきたいと思えます。

ここまでのひと月は、環境が変わって疲労やストレスをためている児童もいることでしょう。この後、ゴールデンウィークの5連休。心身ともにリフレッシュしてください。



○ 学校Webページをリニューアルしました。

各項目を今年度版に更新し、ユニバーサルデザインに配慮したレイアウトにしました。「本太小ニュース」では子どもたちの活躍の様子をご紹介します。スマホでもPCでも、ぜひご覧ください。

